

(5) 自動車用容器の国際調和の取組

令和3年10月25日

高圧ガス保安室

国際的な規制の統合化に向けた動き（UNR134関連）

- 国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）において、水素燃料電池自動車の基準調和を担う衝突安全分科会（GRSP）が本年5月にオンライン形式で開催され、**水素燃料電池自動車の相互承認のための協定規則（UNR134）の改正が議論・採択された。**
- 今後、本年11月に開催予定のWP29において採択されれば、約半年後の**2022年5月に改正UNR134が発効すること**となる。このため、国内における法令をこれに整合させるため、必要な改正を行う予定。

UNR134の主な改正内容

- 大型車の充填可能期限を**15年から20年まで延長**する。
- 充填可能期限の延長に伴い、**容器や附属品のサイクル試験数等を増やす。**
※15年の場合は11,000回、20年の場合は15,000回等
- 型式承認を得た容器に関して、設計の一部変更をする場合に要求される試験項目をリスト化する。

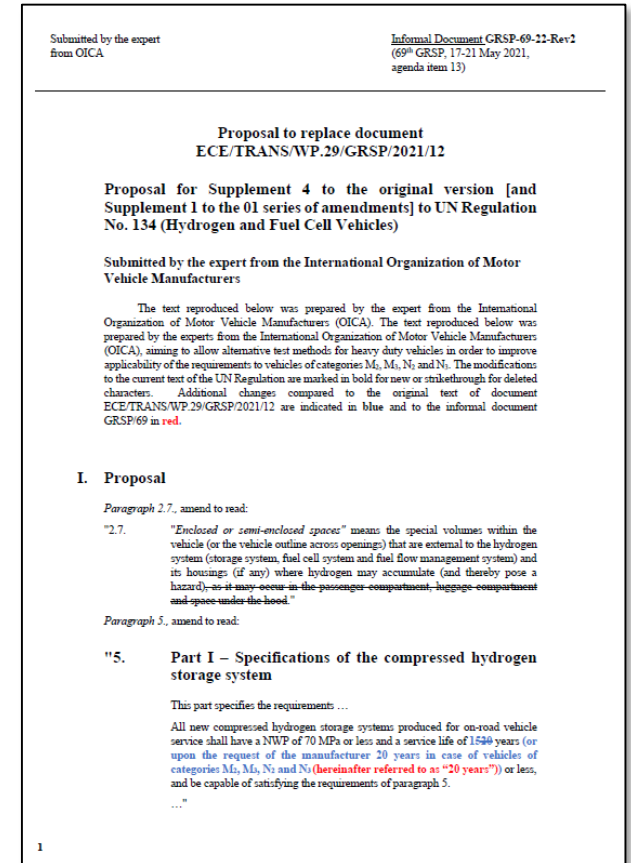
提案者

国際自動車工業連合会（OICA）

今後の予定

令和3年11月 WP29にて採択

令和4年5月 UNR134の改正が発効



国際的な規制の整合化に向けた動き（GTR13関連）

- 国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）傘下の衝突安全分科会（GRSP）に、**水素自動車の世界技術規則（GTR13）の改正を議論するための非公式会合（IWG）**が設置されており、GTR13の**第一段階でまとまらなかった論点等を第二段階として議論**している。
- 議論が順調に進めば、**本年12月の衝撃吸収分科会（GRSP）に非公式提案**がなされ、その後、同分科会への公式提案・採択を経て、WP29に提案される予定。
- なお、**本改正事項は、別途、GRSPやWP29での採択を経て、UNR134に反映される**予定。

主要な議論事項

- **自動車のクラス：バス・トラック等大型車の追加**
- **容器寿命の延長：容器寿命を15年から25年に改定**
- **容器初期破裂圧適正化：初期破裂圧を公称使用圧力の225%から200%と改定**
- **金属材料の水素適合性試験法：新たな試験方法を追加**
- **アルミニウム合金の腐食試験法：新たな試験方法を追加**
- **容器火炎暴露試験法：各試験機関間で再現性にばらつきが出ないように試験法を改定等**
- **小径容器：小径の容器を複数連結させてシート状にした容器に適用可能な技術基準に改定**
- **容器寿命の起算日：容器寿命の起算日を容器製造段階に行われる耐圧試験の日に加え、容器製造者が実施する最終検査試験日を追加**

最近のIWG開催動向

20年10月 第8回非公式会合（オンライン）、21年3月 第9回非公式会合（オンライン）
21年6月 第10回非公式会合（オンライン）、21年10月 第11回非公式会合（オンライン）

国際的な規制の統合化に向けた動き（UNR110関連）

- 国連の自動車基準調和世界フォーラム（WP29）傘下の安全一般分科会（GRSG）において、**本年4月に天然ガス自動車の相互承認のための国連規則（UNR110）の改正が議論・採択**された。
- 今後、本年11月に開催予定のWP29において採択されれば、約半年後の**2022年5月に改正UNR110が発効**することとなる。なお、本改正に伴う国内法令の改正は必要ない見込み。

UNR110の主な改正内容

- 型式承認番号の付与に関して、UNR110本文に規定する形式から、1958年協定を参照する形式に変更すること等を規定。
- 過流防止弁に関し、均圧式に加え、遮断式を新たに追加し、遮断式過流防止弁の認可要件（手動でのリセット動作機能を有していること等）等を規定。

提案者

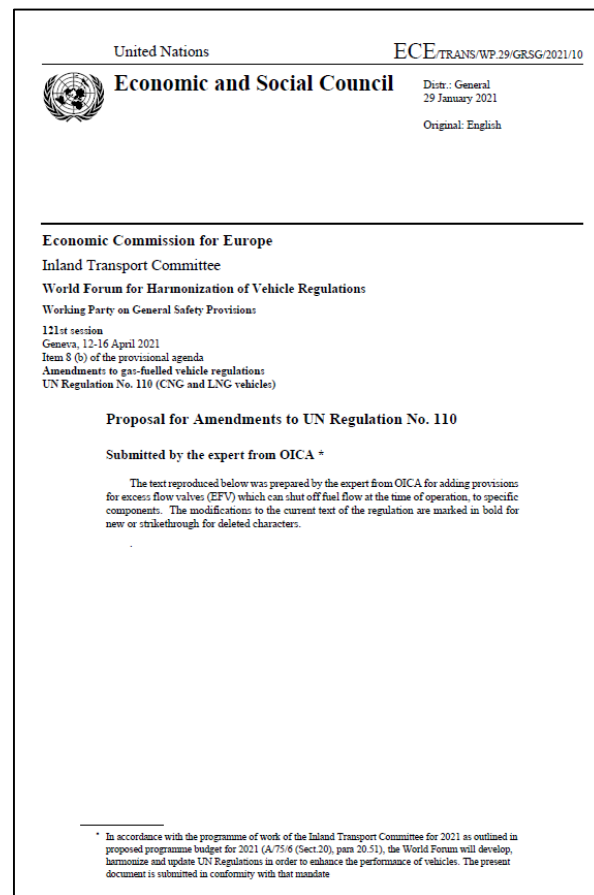
オランダの専門家

国際自動車工業連合会（OICA）

今後の予定

令和3年11月 WP29にて採択

令和4年5月 UNR110の改正が発効



(参考) 自動車基準の国際調和

- 自動車基準の国際調和には、認証の相互承認制度を採用するUNR（協定規則）と相互承認を含まず技術基準を調和するGTR（世界技術規則）の2種類がある。
- 高圧ガス保安法の対象となるのは、水素等を貯蔵する容器及びその附属品。

1958年協定（UNR）

- ❑ 自動車の構造および装置の安全・環境に関する統一基準の制定と、その統一基準による装置に対する認証の相互承認を推進することを目的とした国際的な自動車の相互承認制度。
- ❑ UNR適用国のいずれか1カ国で認証を受けた場合、協定に加入し、同じUNRを適用している他国での認証手続きは不要（試験や手続きなしで受け入れられること）となる。
- ❑ 57の国・地域が加盟（2021年6月時点）

1998年協定（GTR）

- ❑ 自動車の安全、環境、燃費及び盗難防止にかかわる世界技術基準の制定を目的とし、認証に係る規定は含まない。
- ❑ UNRと異なり、米国のようにメーカーが製品の基準適合性を保証する「自己認証制度」を適用している国や、中国、インドなど固有の認証制度をもつ国も加入している。
- ❑ 38の国・地域が加盟（2021年6月時点）



国際連合

欧州経済委員会

自動車基準調和フォーラム（WP29）

安全一般
(GRSG)

衝突安全
(GRSP)

自動運転
(GRVA)

…
(…)

